



 大豊工業株式会社

証券コード 6470



第112期 期末報告書

2017.4.1~2018.3.31

CONTENTS

株主の皆さまへ
決算概要
2017年度トピックス
連結業績ハイライト
株式概況／会社概況

株主の皆さまへ

日ごろより、大豊工業ならびに大豊グループ各社に格別のご支援をいただき、誠にありがとうございます。

2017年度の期末報告にあたり、ごあいさつ申し上げます。

当社は2015年に持続的な成長を目指して「VISION 2020」を策定し、その実現に向けた「2016-2018年度中期経営計画」に基づき企業活動を推進しております。この活動の柱は、当社の強みであるトライボロジーをベースとして「地球環境とお客様への貢献」をテーマに、(1)製品技術・生産技術の革新、(2)グローバル供給を支える製造・生産技術、(3)人財力の強化の3軸で、競争力の強化・基盤の整備に取り組んでいます。

前期は「2016-2018年度中期経営計画」の中間期に当たり、初年度の活動の成果の刈り取りと、最終年度である当期に向けて、3軸の活動を加速させてまいりました。売上高において、軸受製品は中国市場で受注増加、海外市販製品は拡販により大幅増収、システム製品ではバキュームポンプやEGRバルブの生産が拡大。子会社日本ガスケツ(株)のガスケツ製品ではタイ、中国での現地生産が伸び、また円安による為替影響の後押しも加わり、結果として売上高は過去最高となりました。

一方、収益面では拡販および原価低減活動による合理化は進展したものの、グローバルの生産量の拡大により労務費、経費等が増加、また、原材料価格の高騰などの影響により、営業利益、経常利益は過去最高となりましたが、純利益は微減となりました。

【2017年度の主な取り組み】

(1)製品技術・生産技術の革新

大豊岐阜(株)では次世代の軸受素材の開発を加速するため、量産実証ラインが稼働しました。コンパクトで生産性の高いバキュームポンプの casting・加工・組付一貫ラインを開発・導入しました。

(2)グローバル供給を支える製造・生産技術

お客様の現地調達ニーズに対応するため、すべり軸受生産ラインを中国、米国で増設。また、バキュームポンプを米国で生産開始しました。

(3)人財力の強化

2016年度より「燃える職場・社員総活躍プロジェクト」を立ち上げ、第一の矢として人財力向上に向けた体系づくりとして「スキルアップ制度」を推進。さらに第二、第三の矢の活動により、教え・教えられる風土の醸成と働き方改革を実現いたします。

2018年度は労務費および減価償却費の増等の減益要因が想定されるものの「2016-2018年度中期経営計画」の最終年度として、3軸の活動を継続・加速し、既存事業の収益体質を強化し原資を稼ぎ、一方で新規事業の開発・開拓にも傾注して、「VISION 2020」に向け、グループの総力を挙げ愚直に活動を推進してまいります。

株主の皆さまには、引き続きご支援・ご鞭撻をお願い申し上げます。

「VISION 2020」 「地球環境とお客様への貢献」

2016-2018年度中期経営方針

「ゆるぎない『信頼と技術』でグローバルに躍進」

- 技術・品質・原価の徹底追求により、世界トップの競争力を持つ企業となる。
- 人財・組織づくりとリソースの最大活用により、グローバル基盤を更に強化する。

2018年6月

代表取締役社長 **杉原 功一**



決算概要

連結損益計算書

(単位:億円)

科目	2017年度	2016年度
売上高	1,146	1,089
営業利益	68	63
経常利益	67	62
税金等調整前当期純利益	68	62
親会社株主に帰属する当期純利益	42	44

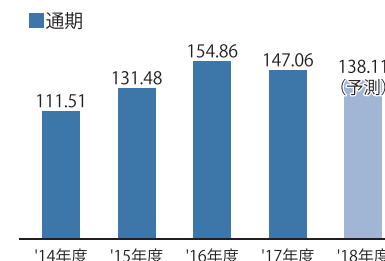
連結貸借対照表(要旨)

(単位:億円)

2016年度末		2017年度末	
流動資産	576	流動負債	282
固定資産	559	固定負債	235
		純資産	617
流動資産	567	流動負債	269
固定資産	591	固定負債	229
		純資産	659
総資産	1,135	総資産	1,158

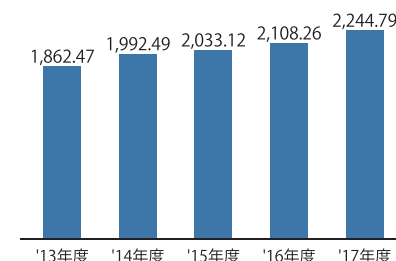
1株当たり当期純利益

(単位:円)



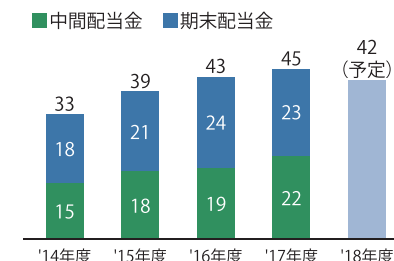
1株当たり純資産

(単位:円)



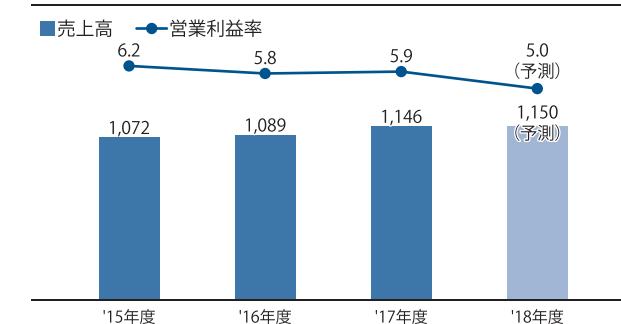
1株当たり年間配当金

(単位:円)



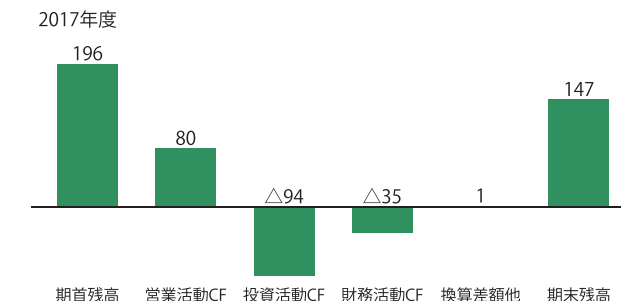
売上高/営業利益率(連結)

(単位:億円)



連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:億円)



■グローバル供給を支える製造・生産技術

■中国生産強化(TCY)

- メタル加工ラインを増設
- 樹脂コーティングラインを増設



■アセアン生産強化(PTN)

- 良品率(RR)ラインを増設



■国内生産強化

- コンパクト鋳造ライン稼働(大豊岐阜)
- 第3工場を竣工稼働(大豊岐阜)



- 実証ライン火入れ式(大豊岐阜)
- バキュームポンプ生産開始(大豊岐阜)



- 次世代加工ライン稼働(細谷工場)



■米国生産強化(TCA)

- メタル加工ラインを増設



- 樹脂コーティングラインを増設



- バキュームポンプ生産開始



■VISIONを実現する人財づくり

- スキルアップ制度



- 元気工場プロジェクト グローバル推進会議



■働き方改革の推進

- 豊田市主催「働き方改革推進シンポジウム」講演



- (株)三井住友銀行主催「働き方改革」セミナー講演



■トヨタ自動車より表彰

- プロジェクト表彰 新型カムリバキュームポンプ



- プロジェクト表彰 レクサスLS500h/LS500 コンプレッサハウジング



- 技術開発賞(大豊精機)



- 品質管理優秀賞(日本ガasket)



- Technology & Development Award (TCA)



■企業PRの取り組み

- 東京モーターショー
- 人とするまのテクノロジー展



- キッズエンジニア
- 名証IRエキスポ



■CSR活動の取り組み

- 大豊工業トライボロジー研究財団 国際シンポジウム

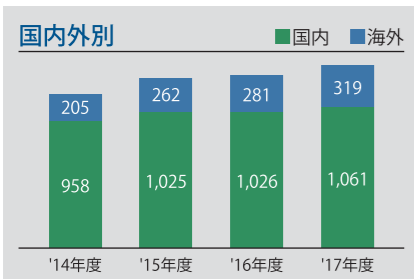


- 豊田少年少女発明クラブ緑ヶ丘教室 当社施設の提供

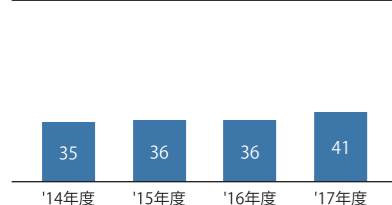


連結業績ハイライト

地域別売上高

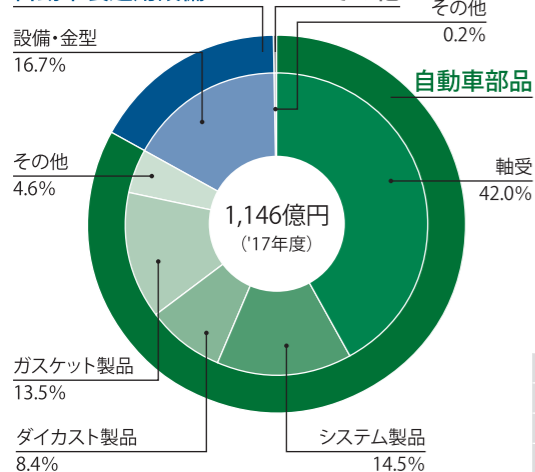


欧州

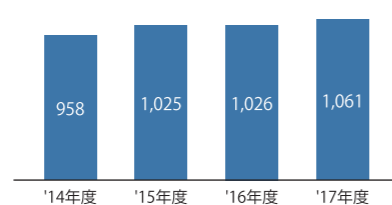


事業別売上高

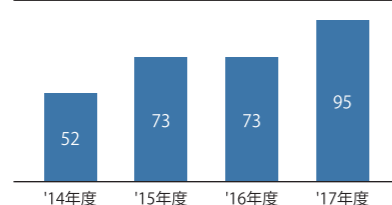
自動車製造用設備



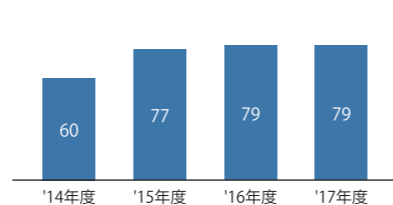
日本



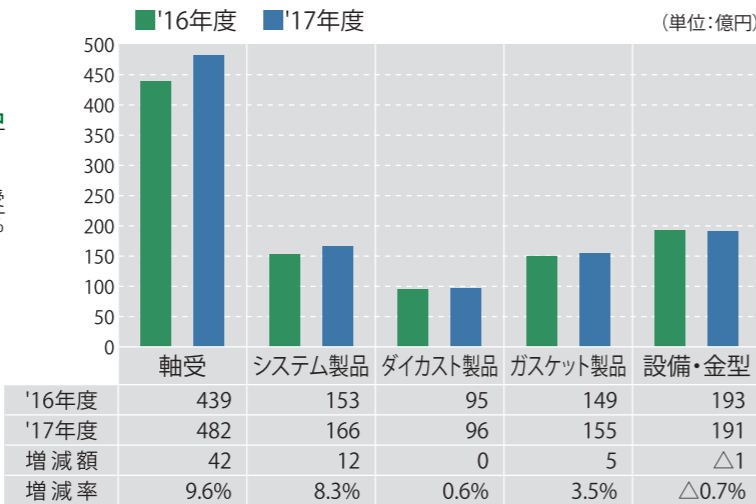
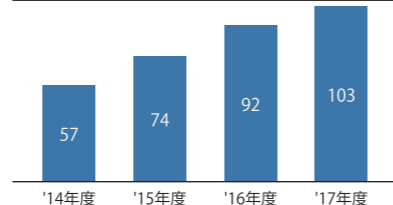
中国



北米



アジア



株式概況 (2018年3月31日現在)

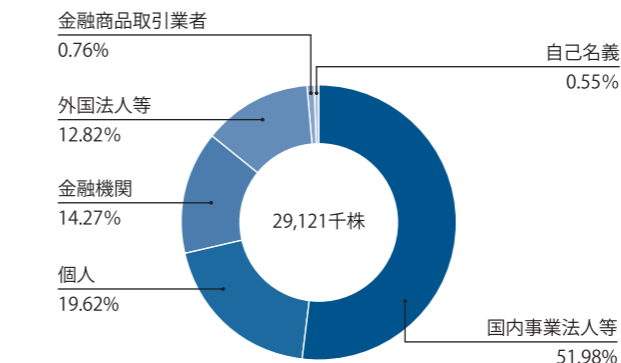
株式の状況

発行可能株式総数	48,400千株
発行済株式の総数	29,121千株
株主数	3,739名

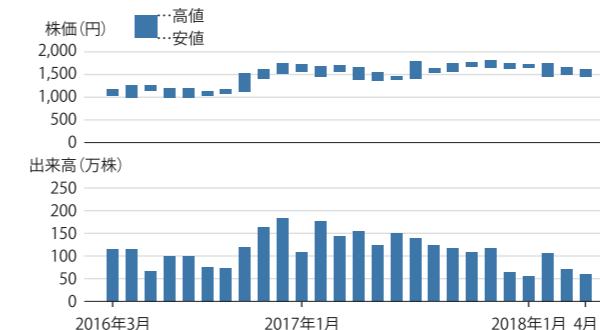
大株主(上位5名)

株主名	持株数(千株)
トヨタ自動車株式会社	9,676
株式会社豊田自動織機	1,427
日本発条株式会社	1,344
豊田通商株式会社	1,071
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,016

所有者別株式分布状況



株価の推移



会社概況 (2018年3月31日現在)

会社概要

創業 1944年12月
 資本金 66億7千9百万円
 従業員数 連結:4,400名 単体:1,670名
 本社所在地 〒471-8502 愛知県豊田市緑ヶ丘3-65
 TEL (0565) 28-2225 (代表)
 事業内容 軸受および軸受素材、ダイカスト製品、ガasket製品、システム製品、設備、金型などの製造販売

事業所および営業所

本社/本社工場(愛知県豊田市)
 細谷工場(愛知県豊田市)
 篠原工場(愛知県豊田市)
 九州工場(鹿児島県出水市)
 幸海工場(愛知県豊田市)
 東京営業所(東京都中央区)
 大阪営業所(大阪府大阪市)

国内子会社

大豊精機株式会社(愛知県豊田市)
 日本ガasket株式会社(愛知県豊田市)
 大豊岐阜株式会社(岐阜県可児郡御嵩町)
 株式会社ティーイーティー(愛知県春日井市)
 株式会社タイハウライフサービス(愛知県豊田市)

主な海外子会社

タイハウ コーポレーション オブ アメリカ(アメリカ)
 タイハウ ヌサンタラ株式会社(インドネシア)
 タイハウ コーポレーション オブ ヨーロッパ 有限会社(ハンガリー)
 韓国大豊株式会社(韓国)
 大豊工業(煙台)有限公司(中国)
 タイハウ コーポレーション オブ タイランド(タイ)
 常州恒業軸瓦材料有限公司(中国)

取締役(2018年6月12日現在)

代表取締役社長 杉原 功一
 代表取締役副社長 村井 茂
 専務取締役 鈴木 徹志
 専務取締役 佐藤 光俊
 専務取締役 河合 信夫
 専務取締役 吉井 利治
 社外取締役 榎本 祐嗣
 社外取締役 佐藤 邦夫

執行役員(2018年6月12日現在)

常務執行役員 原田 淳
 常務執行役員 大河内光人
 常務執行役員 岸 吉信
 執行役員 出崎 亨
 執行役員 粟津 滋喜
 執行役員 岩井 晋一
 執行役員 加納 知広
 執行役員 小笠原邦彦
 執行役員 磯谷 信宏
 執行役員 延川 洋二

監査役(2018年6月12日現在)

常勤監査役 村松 省吾
 社外監査役 西村 祐
 社外監査役 橋爪 秀史
 社外監査役 安田 益生

■ 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
期末配当金支払株主確定日	3月31日
中間配当金支払株主確定日	9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先(注)	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部 名古屋証券取引所市場第一部
ホームページ	http://www.taihonet.co.jp/

● 株式関係のお手続きについて

1. 株式関係のお手続きにつきましては、お取引先の証券会社までご連絡ください。また、特別口座で管理されている株につきましては、特別口座管理機関の三菱UFJ信託銀行までお問い合わせください。
2. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



お問い合わせ先 TEL (0565) 28-2225 (代) 総務人事部広報グループ